

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	臨床病理学的解析による前立腺がんの最適診断法確立ならびに浸潤・転移機構の解明
	研究目的	<p>前立腺がんは近年患者数・死亡数ともに増加したがんの一つで、今後さらに増加すると考えられています。</p> <p>そこで、本研究では通常の医療行為で得られる臨床所見と生検検体の病理所見を詳細に調べることで、がんを効率的に検出し、過剰診断のリスクを軽減するための基礎的な知識を得ることを第一の目的とします。</p> <p>その後、当センターで行われた前立腺がんの手術症例を対象として、分子病理学的ならびに統計学的解析などを行うことで、最終的には前立腺がんにおける浸潤・転移機構の解明を試みます。</p>
	研究対象者	当センターで前立腺生検術、前立腺全摘出術を施行された患者さんが対象となります(対象期間は2015年1月1日～2024年3月31日です)。
	研究期間	西暦 2019年6月26日～西暦 2024年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	大久保 陽一郎
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	病理診断科、泌尿器科、放射線診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	当センターのみでの研究です